

【高知県】 【高知労働局】 県内の訓練事業・施設を網羅した 「離職者・在職者のためのスキルアップガイド」を作成

【課題・目的】

少子・高齢化が進行している中で、職業能力開発行政の役割として地域における人材育成・スキルアップが喫緊かつ重要な課題となっている。これまで以上に**高知県内の公的職業訓練事業を県内外に広く周知啓発**を行い、訓練定員の充足数を向上させ、訓練修了後には正社員雇用につながる取組が必要となっている。
このため、**職業訓練の見える化**を行い、人でも多くの県民のスキル向上を図る。

【実施概要】

高知県内の訓練事業・施設を網羅した「離職者・在職者のためのスキルアップガイド(※)」を高知県及び高齢・障害・求職者支援機構高知支部と連携して作成。

※ <http://kochi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/skillup.pdf>

(国における活用例)

HW所長等の市町村・事業所等訪問時、職員等の学校訪問・巡回相談時、訓練関係のプレ相談時 など

【役割分担】

【高知県】

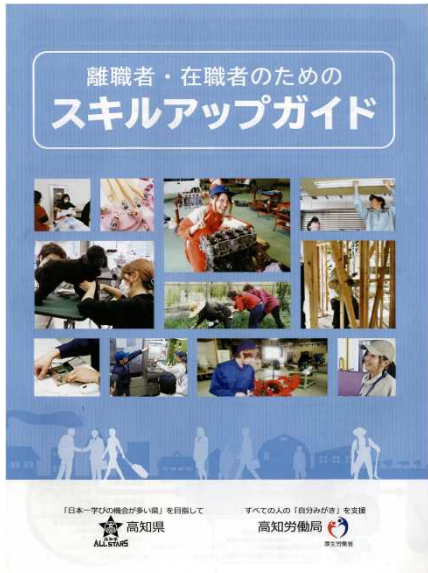
- ◆ 県の訓練コースの概要と、訓練風景の写真の収集・提供
- ◆ 作成後に県庁内の関係課室や県外事務所において、周知・配布

【労働局】

- ◆ 訓練情報の収集、スキルアップガイドの編集・発行
- ◆ 高知県、県内学校、訓練関係機関及び企業等に7,000部を配布

【効果】

- ◆ 職業訓練の定員充足率がアップ。(26年度64.0%⇒27年4月～8月開講分69.6%)
- ◆ 訓練受講中に無料で就学前の児童を預かる制度を周知したところ、6名が利用。30代主婦の情報誌『サンキュ!』2015年10月号にポリテクセンター高知の住宅CADリフォーム科の訓練生の紹介記事が掲載された。



<高知県コメント>

高知県では、産業界や大学等と連携し、「志ある産業人材の育成」に取り組んでおり、県内産業を支える人材の育成・確保を推進するためのツールとして「スキルアップガイド」を活用していきたい。

<労働局コメント>

県と連携することで、公共職業訓練の「見える化」が可能となった。公共職業訓練や求職者支援訓練を含めた公的職業訓練全体のPR強化を行い、県民の生涯教育や学び直しにより、スキル向上を図ったうえで、正社員就職を目指すとともに、支援を充実させていく。